



さざんくるす

KINAN HOSPITAL
OFFICIAL INFORMATION PAPER

March 1st.2019

vol.63

「いよいよ65歳、定年退職です。」



副院長
藤本 特三

奇しくも平成の終わりとともに38年間の公務員生活にも終わりが近づき、不思議な気持ちになっています。いよいよ送別される立場になるのだと思うとすごく寂しい気持ちです。

自分自身では、歳をとったと微塵も感じていませんが最近、介護保険証、老齢基礎年金の送付があり「がくっと」落ち込み、怒りとも感じる気持ちが湧きだしました。

もっと良いネーミングがないものか、例えば、「やすらぎ保険証」「ありがとう基礎年金」とか……？
年をとれば気は長くなるではありません。短くなるのです。

さて私事ですが、昭和55年に自治医科大学卒業後、和医大第一内科に入局。9年間の義務年限期間を和医大での初期・後期研修、国保すさみ病院、富里・三川両診療所での僻地診療に従事。

義務年限終了後、少しの本音として「一度は都会に出て勤務したい」という気持ちもありましたが、平成元年、故中村院長の「give and take」の精神、柏井利彦先生および西本英一郎先生の存在に惹かれ紀南病院に就職し、現在に至りました。ここで、30年間お世話になりました紀南病院および内科について少しふり返ってみたいと思います。

紀南病院は、昭和20年12月19日に農業会(田辺市ほか37町村)が経営主体となり「紀南病院(病床数:71床)」を創設。その後、昭和33年4月1日に経営委託者が社会保険庁、受託者が公立紀南病院組合となり、「社会保険紀南総合病院」に名称変更。

平成17年5月1日、現在の田辺市新庄町に新築移転し「社会保険紀南病院」に名称変更。平成26年3月12日、独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構(RFO)から譲渡され、田辺市・みなべ町・白浜町・上富田町の1市3町が設立している公立紀南病院組合の所有となり「社会保険紀南病院」から「紀南病院」に生まれ変わりました。

私は和医大第一内科に入局し、こちらに赴任してきましたが、紀南病院内科における和医大第一内科の歴史は、昭和52年7月1日、里神栄一先生が先駆者として赴任されたことに始まります。以降、35名余りの多数の先輩・後輩諸先生方と他医局・他大学の内科系先生方によって、現在の内科の基礎が築かれ発展してきました。

「内科系すべての疾患に対応できる様に日々努力し、総合診療に心がけ、各専門分野の診断と治療にあたること。消化器科・血液腫瘍内科・循環器科・腎臓内科との密接な協力・連携のもと、的確な診断・治療を患者に提供すること」をモットーに現在も日々進化中である事を自負し、「紀南病院ブランド」が益々、高みに入ることを願っています。

長期に渡り無事に紀南病院で勤務できた事を内科系および各診療科諸先生方に心から感謝するとともに、私を鍛えてくれた多数の患者さんに「ありがとう」と言いたいと思います。

また、私のわがままによく耐えて聞いて頂いた多数の医療スタッフに感謝しながら残り一か月余りの紀南病院での職務を楽しみたいと思います。



藤本副院長は毎月2回秋津川診療所で20年余り、僻地診療に携わってこられました。地域医療に貢献され、住民の方々に強い信頼を得ておられます。(秋津川診療所のスタッフの方々と診療所前にて)



研修医

川合 祥太

初めまして。初期研修医1年目の川合祥太と申します。紀南病院での研修も、はや1年を迎えようとしております。ようやく病院業務にも慣れ、病院スタッフの皆さまの御指導のおかげで充実した研修生活を送る日々であります。

梅のつぼみがほころぶ季節となり春が待ち遠しい今日この頃ですが、サザンクロスの貴重な紙面をお借りする機会をありがとうございましたので、自己紹介させていただきます。

生まれは愛知の片田舎、八丁味噌という赤味噌が特産品の岡崎市で育ちました。

実家は歯科技工所で、工場の2階に暮らしておりました。煮え立つ溶鉱炉のちょうど真上に自室を与えられ、うだるような暑さのなかスルスクと育ちました。

幼少の頃の記憶はあまり定かでないのですが、義歯を研磨するドリルや金属を鋳造する機械のけたたましい喧噪と、自室の異様な暑さだけは覚えております。

共働きで多忙な両親でしたので、自分は幼い頃から自宅で一人過ごす事が多かったように思います。そんな自分を案じてか、両親は毎週決まって映画のVHSビデオを買い与えてくれまして、小学生時代の自分にとって映画を見る事がささやかな趣味となりました。

その後、中高一貫校に入学したのですがなにごん遊びたい盛りだったのであまり勉学に身は入らず、映画館に通いつめてみたり、何をすることもなく呆けて過ごしてみたりする日々も多かったです。そんな風に過ごしていた中高時代ですが、在学中に美人の女友達が医学部を目指しているのを知り、それに影響されてか徐々に医学に興味をもつようになり1年浪人したのち、なんとか大阪大学に入学しました。

大学時代は全学部サークルの映画研究部に所属しました。サークル活動として自主製作映画を作るにあたり、撮影スポットやキャスト捜しのため大阪を奔走する事も多く、自然と大阪という街に親しめたのはいい思い出です。

生まれも育ちも愛知の自分にとって、見知らぬ地で一人暮らしていくのは当初大変恐ろしく途方もない事のように思えたのですが、いざ暮らしてみると人も街もとても感じが良く、あつという間に大阪という街が第2の故郷のように感じられたのが印象深いです。

縁あって今は紀南病院で研修させて頂いておりますが、この2年間を通して、田辺をまた一つ自分の故郷と思えるよう親しんでいきたいと思っています。

お目汚し、失礼致しました。

まだまだ至らぬ点の多い青二才であり、ご迷惑をお掛けする事があるかとは思いますが、よき医療者となれるよう、これからも精進していく所存であります。改めて宜しくお願い致します。

公立甲賀病院組合議会が視察研修で来訪

2月6日(水)、滋賀県の公立甲賀病院組合管理者(湖南市長)、副管理者(甲賀市長)をはじめとした同組合の議会議員、病院職員の皆さん総勢20名が来訪されました。

真砂管理者の歓迎挨拶から始まり、紀南病院における救急医療や経営管理、人材確保や育成、地域に向けての取組、今後に向けて…を説明。活発な意見交換もあり、当院としても有意義な機会となりました。



医療の現場から

薬剤部って、なにしてる？

薬剤部主任
小山 晃生



みなさんに薬剤部・薬剤師が日々どのような仕事をしているかを紹介したいと思います。薬剤部は現在、薬剤師15名(内パート2名)、薬剤助手2名が勤務しています。

数年前から、力を入れて取り組んでいることは病棟薬剤業務&薬剤管理指導業務(服薬指導)です。ICU、NICUを除く病棟には専任薬剤師を配置し、病棟に通っています。投薬・注射状況の把握、病棟からの相談応需、入院時の持参薬確認、相互作用の確認、麻薬・毒薬・向精神薬・ハイリスク薬等の管理や説明、TDMの実施などです。指導率は約55%/月となっており、病棟で役立つ薬剤師を目指して部員一同頑張っています。

最近では外来での化学療法も多くなり、抗がん剤調製業務も柱となっています。レジメンチェックや調製、患者への説明や副作用の確認、医師への処方提案なども行っています。

薬品の購入や在庫管理・院内製剤やTPN調製業務・医薬品情報収集業務も行っています。



昨年10月より注射薬カート払い出しが開始しました。

その他、院外処方箋監査も行っています。約300枚/日(発行率は約80%/月)を監査し、患者に手渡しています。薬や保険の追加・変更等の連絡が各科外来からきて、それを処理するのは結構大変です。

そしてなんといっても、入院・外来の調剤業務です。入院調剤は、定時・臨時・常備に分けて調剤しています。昨年10月に注射薬払い出し装置を新しくし、それに伴い部内をリノベーションしました。また、調剤内規マニュアルも半年をかけ、看護部の皆さんにも協力して頂き見直しました。大きく変更したのは、処方箋の払い出し時間です。少しでも遅くすることで、処方の変更・追加等を減少させることが出来るのでは、調剤件数や病棟での手間等を減らすことが出来るのではと考えました。

また注射薬では、100mL以上の補液・輸液の払い出しを個人毎にしました。そのため注射薬払い出しカートやトレイが大きくなり、病棟での設置場所やリニアの運用でご迷惑をお掛けしました。これで薬剤師による調剤ミス(薬剤・規格・本数の取り違い、ラベルのつけ違い)や看護師による輸液・補液の取り違い等が回避出来、少しでもひやり・はっと報告が減ってくればと思っています。

ここ数年、薬剤部は人員不足に悩んでおり、病棟業務や抗がん剤調製業務、入院調剤などに影響が出てきています。業務内容の見直しを行いつつ維持継続出来るように努めていますが、関係各所の皆さんの御協力が必要になってきています。院外処方箋発行率の向上(外来院内調剤を少なくする)、院外処方箋監査の移行等も視野に入れ、より貢献できる薬剤部を目指したいと思っていますのでよろしくお願ひします。

医療の現場から (resident)

2019年2月9日開催された「第32回日本心臓血管インターベンション治療学会近畿地方」にて大森医師が、研修医セッション優秀賞受賞されました。

先生の一言: 諸先生方のご指導のお陰です。有り難うございました。



《医師》

- ①出身地
- ②趣味
(特技・得意技)
- ③一言アピール
(敬称略)



あらき さとこ
《眼科》新木 智子

①奈良県②温泉めぐり③久しぶりに和歌山に戻ってきました。分からない事も多くご迷惑をおかけすると思いますがよろしくお願いします。

第74回市民健康講座

頭頸部がんは、顔面頭蓋から頸部にかけての部分に発生した悪性腫瘍です。その中で細かく部分が分かれています。今回は咽頭がんについてお話しします。

日時 平成31年3月17日(日)
午後2:00～3:00

演題 **詳しく知ろう!**
～頭頸部がん・シリーズ1
: 咽頭がん～

演者 **早田 幸子** (紀南病院
耳鼻咽喉科部長)
保富 宗城 (和歌山県立医科大学
附属病院耳鼻咽喉科
・頭頸部外科教授)
酒谷 英樹 (紀南病院
耳鼻咽喉科医員)

会場 紀南病院 3階講堂

学校便り

第108回看護師国家試験が2月17日に行われ、42回生28名が国家試験を受験しました。合格発表は3月22日です。全員が合格できるよう願っています。
＜今後の学校の行事予定＞
卒業式3月1日・終業式3月20日
国家試験発表 3月22日
春期休暇3月21日～4月3日

編集後記

まもなく今年度も終わりです。振り返れば「あっという間の1年でした。」
公私ともに忙しい年でしたが、色々な経験がありました。私事では、孫が日々成長しているかと思えば、こちらは日々老化を感じる毎日ですが、新しい年に向かって新たな目標を持ち、生き生きと頑張れるよう努力したいと考えています。

M記

daikoku 株式会社 大黒

本社: 〒640-8525 和歌山県和歌山市手平 3-8-43

- 和歌山事業所 〒641-0012
和歌山市紀三井寺 855-71
- 紀三井寺事業所 〒641-0014
和歌山市毛見 1111-1
- トリアルフィールド ayumino 〒594-1157
和泉市あゆみ野 4-6-6
- 南大阪支店 〒594-1157
和泉市あゆみ野 4-6-6
- 大阪支店 〒577-0015
東大阪市長田 3-7-11
- 神戸支店 〒653-0042
神戸市長田区二葉町 1-1-22
- 奈良支店 〒630-8115
奈良市大宮町 6-3-13 大宮ヨシエビル
- 紀南支店 〒646-0011
田辺市新庄町 3778-2
- 阪神営業所 〒661-0981
尼崎市猪名寺 1-22-22
- 新宮営業所 〒647-0052
新宮市橋本 2-5-61
- 東京麹町オフィス 〒102-0083
千代田区麹町 3-5-2BUREX 麹町 301号
- 京都丸太町オフィス 〒606-8395
京都市左京区丸太町通川端東丸太町 32-3 上田ビル 3F

DAIKOKU MEDICAL SUPPLY

SEIKO MEDICAL

医療の先へ。セイコーメディカル株式会社

医療・保健・福祉・介護の分野で、

「生命を守る人の環境づくり」を通じて

地域の発展に貢献することが

私達の使命です。



- 本社
〒640-8287 和歌山県和歌山市薬港6丁目9番地の10
TEL. 073-435-2333 FAX. 073-435-2223
- 大阪支店
〒595-0012 泉大津市北畠中町2丁目5番28号
TEL. 0725-31-3610 FAX. 0725-31-3619
- 医大前営業分室
〒641-0012 和歌山県和歌山市紀三井寺768番地の13
TEL. 073-448-3787 FAX. 073-448-3781
- 田辺営業所
〒646-0011 田辺市新庄町2744番地
TEL. 0739-25-4535 FAX. 0739-25-4578
- 新宮営業所
〒647-0072 新宮市峰伏20番22号
TEL. 0735-31-9130 FAX. 0735-31-9133
- 奈良営業所
〒632-0082 天理市荒崎町56番地の4
TEL. 0743-64-3607 FAX. 0743-64-4810